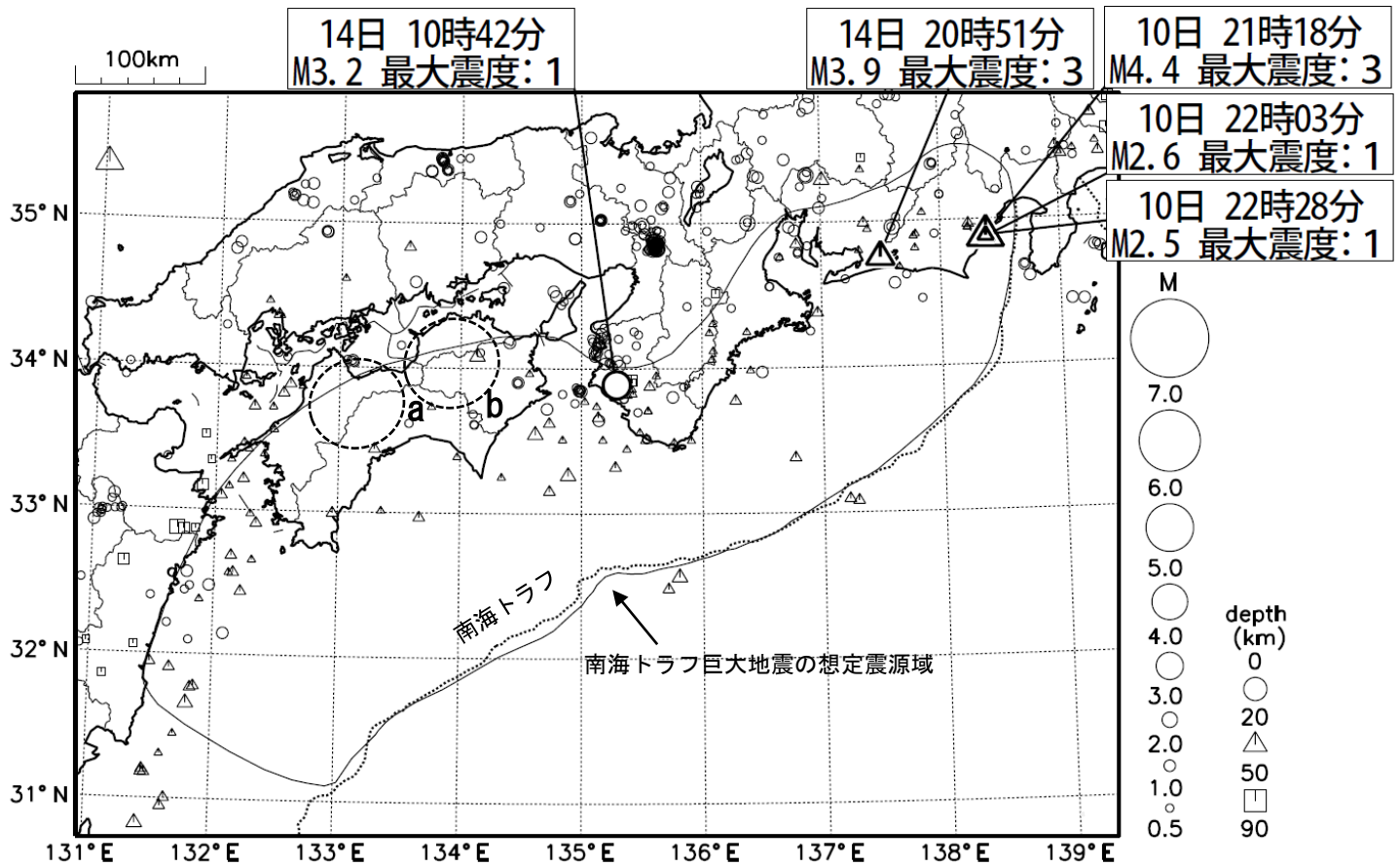


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 33

* 震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成30年8月10日～8月16日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M $\geq$ 0.5、震源の深さ0～90km）。

[概況]

10日21時18分に、駿河湾の深さ22kmでM4.4の地震（最大震度3）が発生した。

14日20時51分に、静岡県西部の深さ37kmでM3.9の地震（最大震度3）が発生した。

[主な地震活動]

- ・10日21時18分に、駿河湾の深さ22kmでM4.4の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発生前後、一時的にやや地震活動が活発となり、最大震度1を観測する地震が2回発生した。
- ・14日20時51分に、静岡県西部の深さ37kmでM3.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

[主な深部低周波地震（微動）活動※¹と地殻変動]

- ・（領域a）6日から13日に、愛媛県から高知県にかけて深部低周波地震（微動）を観測した。
- ・（領域b）13日以降、愛媛県・徳島県・香川県境付近で深部低周波地震（微動）を観測している。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。